

指定都市子ども会JL研修会 北九州大会に参加して JL 日置 凜（高3）

熊本市JLとして中学1年から高校3年の満期まで培ってきた技術とJLとして最高学年である自覚、先の札幌や熊本の大会の自己の経験をもって本大会に臨みました。

大会の中で印象的であった事が、自分の子どもに対する知識や経験が他都市の方に教える機会が十分にあったという事です。主に私がJLチーフ(JLの長)として15月間着任してる間で子どもに対する分析、判断、行動ができるようになった過程と雑学、技術に関する知識を他都市と共有できた事が良かったと思います。

また、本大会の行事の中にKYTに関する講演がありました。子どもの安全を優先するJLとして重要な事ではありますが、自身の認識の違いというものを知らされました。講演中、各班の主張を模造紙にまとめるという作業があり、私は書記を任せられていました。私はそれほど筆記の速さが達者でなく、時間の制約及び講師からの催促に不覚ながら苛立ちを感じました。しかし講演内容はJLとして正当正確であるとともに時間に対する認識を改められました。

本大会の行事において、結果としては全ての自分の行動を良い物として残す事が出来ませんでした。他都市の人と交流し、自都市JLの後の世代で役立つであろう技術を得ることができました。本大会に自経験の中で最後のJLとして参加させて頂いた方々に深く感謝します。

